

## 蘇州語の連読変調

原 瀬 隆 司

## On Tone Sandhi of the Suzhou Dialect

Takashi HARASE

## 目次

- 0 はじめに
- 1 単語・連語における連読変調
- 2 文中における連読変調
- 3 イントネーションを構成する動賓連語
- 4 まとめ

## 0 はじめに

小稿は蘇州語における連読変調について記述したものである。蘇州語は単字がそれぞれ固有の声調（トーン）を有するが、複音節化して単語を構成したり、或いは連語化したり、或いは統語的まとまりをなして連読されるとき、本来の声調に変調が生じる。そしてその変調には一定の類型（パターン）がみられる。

この連読変調のパターンは、二音節と三音節の語・連語などを例にとると、以下のように、第1音節が舒声である場合に5つ、入声の場合に5つのパターンがある。また、その変調のパターンは第1音節が陰調であるか陽調であるかに依って、最初のピッチの高さが左右される、と考えられる。

表 1-1 連読変調のパターン（2 音節、第一音節が舒声）

| 第一音節 | タイプ | 調値        | (3 音節) *わたり・付加のピッチ |
|------|-----|-----------|--------------------|
| 陰平声  | A   | 4421 (22) | 444421 (22)        |
| 陰上声  | A   | 4421 (22) | 444421 (22)        |
|      | B   | 5234 (44) | 523421             |
|      | C   | 5221 (22) | 522221             |
| 陰去声  | A   | 4421 (22) | 444421             |
|      | B   | 5234 (44) | 523421             |

|     |   |                  |
|-----|---|------------------|
| 陽平声 | D | 2244 (44) 225521 |
|     | E | 2321 (22) 233321 |
| 陽去声 | D | 2244 (44) 225521 |
|     | E | 2321 (22) 233321 |

表 1-2 連読変調のパタン (2 音節、第一音節が入声)

| 第一音節 | タイプ | 調値        | (3 音節) *わたり・付加のピッチ |
|------|-----|-----------|--------------------|
| 陰入声  | ①   | 5534 (55) | 553421             |
|      | ②   | 5552      | 555234             |
|      |     |           | 555221             |
|      |     |           | 555532             |
|      | ③   | 55412     |                    |
| 陽入声  | ④   | 3352 (55) | 335221             |
|      | ⑤   | 2244 (44) | 335521             |

本稿ではこうした連読変調が単語及び連語において、原声調とどのような関係にあるのか、また文中においてどのように生じるのか、を検討した。

今回、それらを検討するにあたり、蘇州語のピッチの分析のために、音声分析ソフトを用いた。また、蘇州語の音韻体系に関する記述と例文については、その多くを『普通話対照上海語・蘇州語』に依拠している。また、実際の蘇州語の音調については、次の方々の蘇州語に依った。

周忠民氏 女性 1955 年生まれ、蘇州人（ご両親とも蘇州人、1992 年来日）

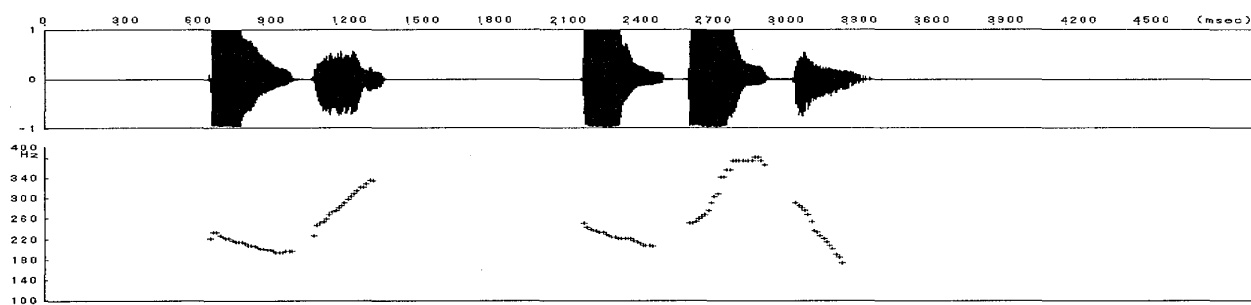
趙 莉氏 女性 1973 年生まれ、蘇州人（父親は山東人、母親は蘇州人、蘇州在住）

## 1 単語・連語の連読変調

### 1-1 単語の連動変調

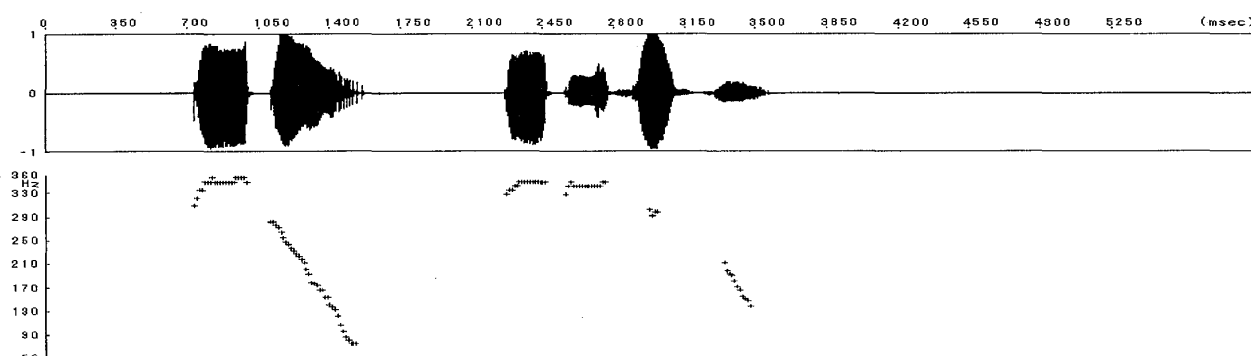
先ず、“肚皮”（肚子）と“臂膊”（胳膊）を例に単語の連読変調を検討する。以下の図 1 及び図 2 を見られたい。

図1 肚皮



|       |     |    |  |     |     |    |               |
|-------|-----|----|--|-----|-----|----|---------------|
|       | 肚   | 皮  |  | 大   | 肚   | 皮  |               |
|       | dəu | bi |  | dəu | dəu | bi |               |
| (原声調) | 231 | 13 |  | 231 | 231 | 13 |               |
| (変調後) | 22  | 44 |  | 22  | 55  | 21 | (表 1-1 D タイプ) |

図2 臂膊



|       |     |     |  |     |     |     |                       |
|-------|-----|-----|--|-----|-----|-----|-----------------------|
|       | 臂   | 膊   |  | 臂   | 膊   | 撐   | 子 (肘子)                |
|       | pi  | poʔ |  | pi  | poʔ | tsã | tsɿ                   |
| (原声調) | 412 | 55  |  | 412 | 55  | 412 | 52ɿ                   |
| (変調後) | 44  | 21  |  | 4   | 44  | 33  | 21 (表 1-1 A タイプ・4 音節) |

“肚皮 (原声調) 231 13”と“臂膊 (原声調) 412 44”は、単語を構成するそれぞれ2つの単字には変調が生じ、それぞれ「22 44」(表 1-1 D タイプ)「44 21」(表 1-1 A タイプ)に変調する。

更に、これらの単語に“大肚皮”“臂膊撐子”のように、他の音節が加わり新たな単語が構成された場合、“大肚皮 22 55 21 (表 1-1 D タイプ)”“臂膊撐子 44 44 33 21 (表 1-1 A タイプ・4 音節拡張型)”のように、“肚皮”“臂膊”は更に「55 21」、「44 44」に変化していることがわかる。

蘇州語では語彙はピッチの相違で他の語との区別をしているわけであるが、今、“肚皮”“臂膊”のピッチ(「22 44」、「44 21」)と“大肚皮”“臂膊撐子”の中のそれらのピッチ(「22 55 21」、「44 44 33 21」)を比較すると、三音節・四音節化したまとまりの中でそれらが“肚皮”と“臂膊”のピッチであるこ

とすら推測することはできない。そして、連読変調したピッチ曲線がそれぞれ山型のパターンや下降調のなだらかな曲線音調をなしていることがわかる。また、それぞれの単語は、陽調の声調を第一音節にもつものは陽調から始まり、陰調の声調を第一音節にもつものは陰調から始まることも見て取れる。比較した下の表2を見られたい。

表2 声調変化の比較

| 単 語     | 調 値         |
|---------|-------------|
| 肚 皮     | 22 44       |
| (原声調)   | 231 13      |
| 大 肚 皮   | 22 55 21    |
| 臂 膊     | 44 21       |
| (原声調)   | 412 55      |
| 臂 膊 撐 子 | 44 44 33 21 |

次に連語の連読変調として、動詞連語の例を検討する。

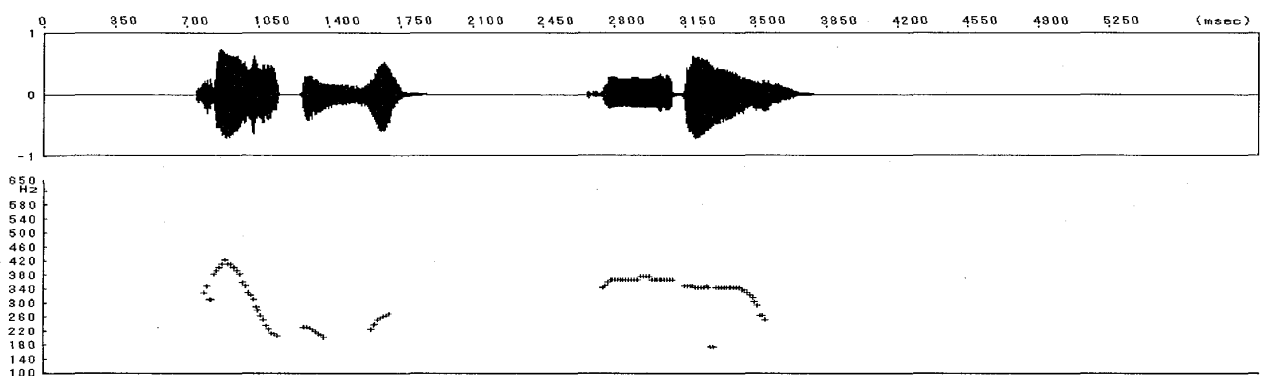
## 1-2 連語の連読変調

動詞連語の例として、次の3例を検討する。図の3～5を見られたい。

看电影 (図3) 过生日 (図4) 包饺子 (図5)

図3 看电影 k'ø diI in

(原声調) 412 231 52



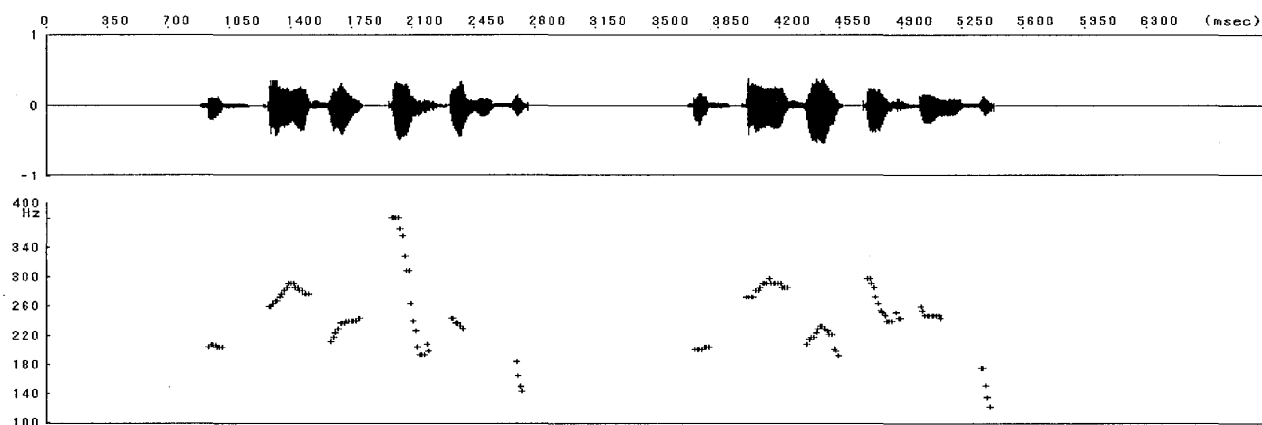
① 看 电 影  
(変調後) 52 / 22 44

② 看 电 影  
44 44 21

\* 「/」は音節の切れ

“看电影”には、二つの変調パターンがあり、その1つの①で示したパターンは「本来の声調」+「連動変調（2音節）」の連読変調しないタイプで、“看”の後ろに音節の切れ目があるもの。②で示したパターンは3音節の統語的まとまりをもち、それが連読変調するタイプで、音節上の切れ目がないもの。

図4 过生日 kəu sā ŋjəʔ  
(原声調) 412 44 23



明 朝 我 过 生 日。

① 52/44 21

明 朝 我 过 生 日。

② 44 44 21

“过生日”も“看电影”と同じように2つの声調パターンをもつ。①は「本来の声調」+「連動変調(2音節)」の連読変調しないタイプで、“过”の後ろに音節の切れ目がある。②は3音節の統語的まとまりをもち、それが連読変調するタイプで、音節上の切れ目がないもの。先に見た図5の「44 44 21」というなかなか下降調の音調がここでも見られる。

今、ここで“看电影”と“过生日”の連読変調のピッチの違いを表にすると、次のようになる。表3を見られたい。

表3 声調変化の比較

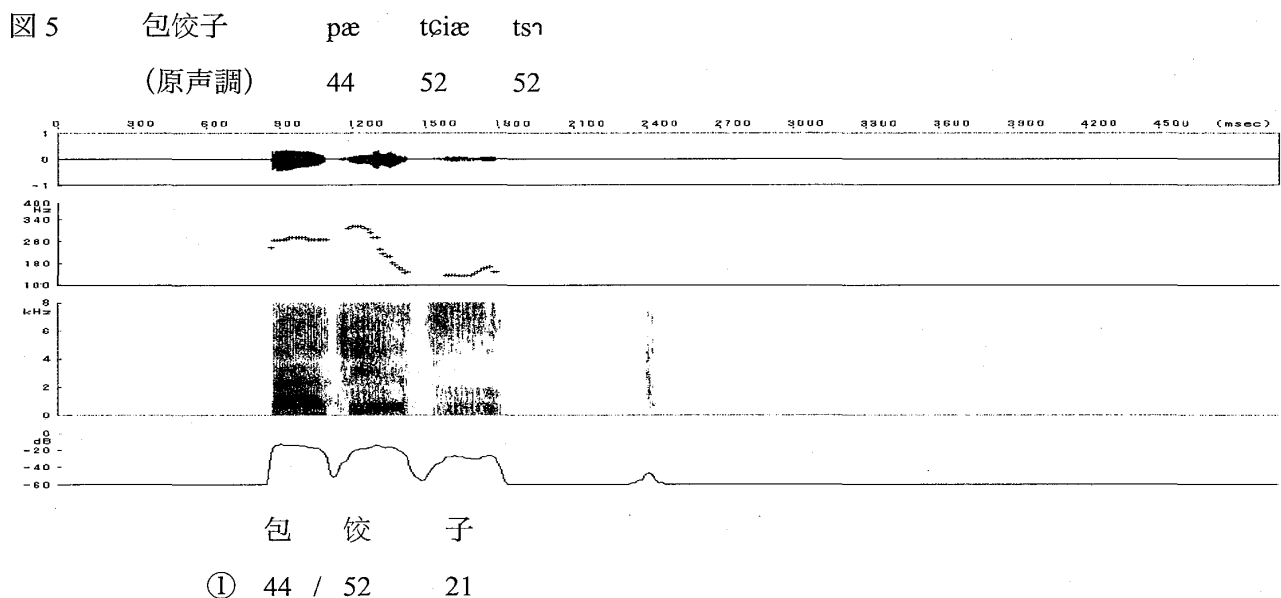
| 動賓連語  |         | 調 値 |     |    |
|-------|---------|-----|-----|----|
| 看 电 影 | (原声調)   | 412 | 231 | 52 |
|       | (変調後) ② | 44  | 44  | 21 |
|       | ①       | 52/ | 22  | 44 |
| 过 生 日 | (原声調)   | 412 | 44  | 23 |
|       | (変調後) ② | 44  | 44  | 21 |
|       | ①       | 52/ | 44  | 21 |

これらの声調の変化を見ると、二つの連語が連続変調した後は、共通のピッチパターンをなしていることがわかる。また、先に見た 1-1 の「単語の連続変調」の声調の変化と同様に、統語的まとまりをもつものには、次のことが特徴として言いうる。

- 1) 第一音節の陽調か陰調かがそのピッチパタンのはじまりの高さを決定していること。
- 2) 全体的なピッチ曲線は本来の声調から離れ、一定のピッチパタンに支配されていること。
- 3) 最後の声調は「21」のピッチで収束していること。

以上、動賓連語の連続変調を検討してきたのであるが、動賓連語の中には、図 3 の②と図 4 の②で見たように連続変調するものがあるが、連続変調しないで、①のタイプのものしか持たず、動詞の後ろで音節上の切れ目が生じるものがある。

次の“包饺子”の例、図 7 を見られたい。



“包饺子”は①のタイプしかもたず、②の連続変調のタイプはもたない。この動賓連語が先に見た図 3、図 4 の“看电影”“过生日”のように連続しないのは、統語的まとまりをもてないことに原因があるようだ。

今、3つの動賓連語の声調パターンを見てきたが、動賓連語には動賓が連続変調しない①のパターンと連続変調する②のパターンがあり、音声的には統語的まとまりを作らない①のパターンがどの動賓連語にも共通していることであると言えることができる。すなわち、蘇州語では、動賓構造は動詞部分が本来の声調を保ち、その後ろに音声的切れ目をもち、賓語が連続変調する、というのが一般的な音声的規則であると、言うことができる。

一方、文全体のイントネーションから見れば、“包饺子”のようないくつかの動賓連語は文中にあっては、その動詞が音節の切れ目をつくり、音調曲線に転換をもたらす原因になっていると、言うこと

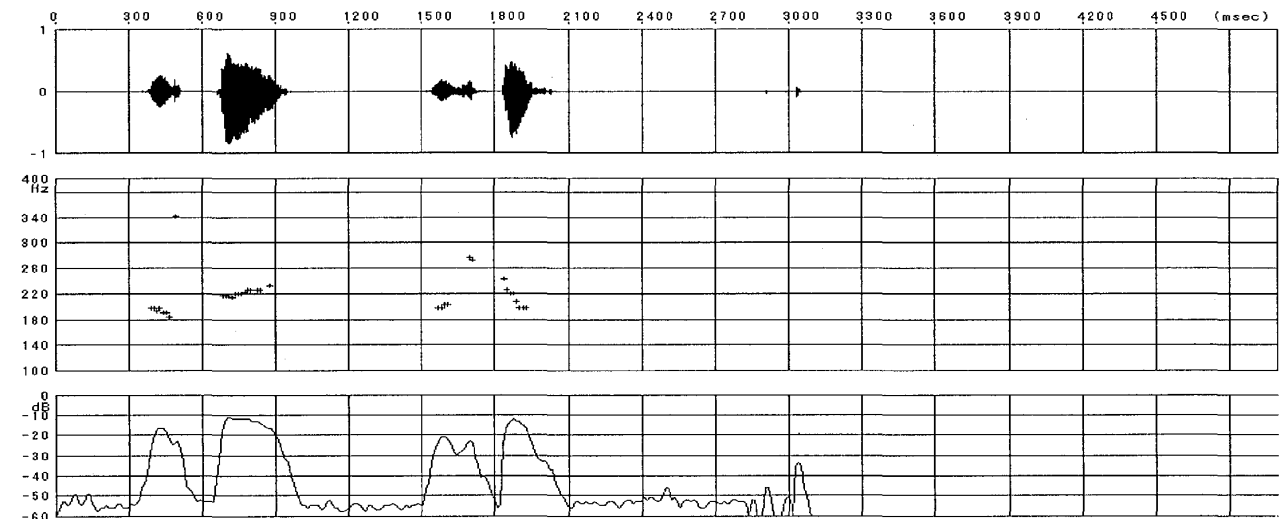
ができる。

次にそのイントネーションに関わると考えられる、文中における連読変調について検討する。

## 2 文中における連読変調

まず、“礼拜日”の文中での変調について検討したい。次の例を見られたい。

図6 礼拜

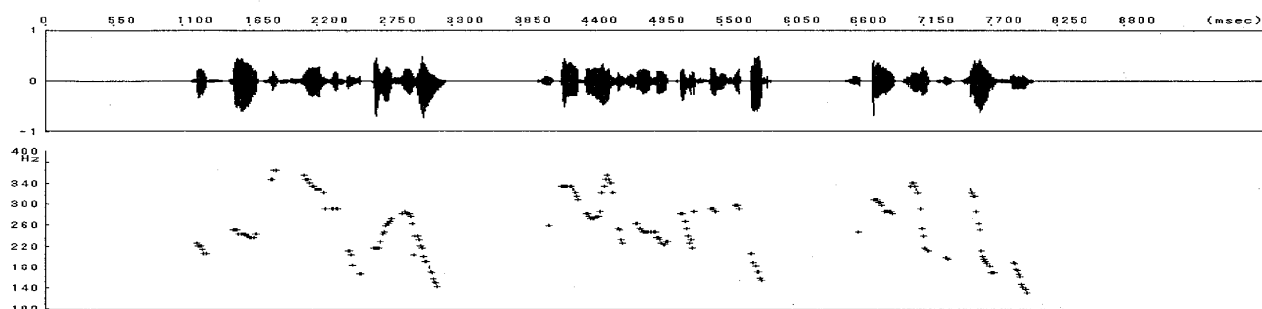


|       |     |      |  |     |      |
|-------|-----|------|--|-----|------|
|       | 礼   | 拜    |  | 礼   | 拜    |
|       | li  | pō   |  | li  | pō   |
| (原声調) | 231 | 412  |  | 231 | 412  |
| (変調後) | 22  | 44 ① |  | 23  | 21 ② |

第1音節が陰去声から始まる“礼拜”の声調には2つのタイプがある。Dタイプ(2244)とEタイプ(2321)である。“礼拜日[lipōŋjəʔ23]”の場合は、“礼拜”と“日”は連読しないで、「礼拜+日」といったパターンとなり、“礼拜”が2音節の連読変調のうちDタイプである①「2244」に変調して、“日”は本来の声調で読まれる。したがって、“礼拜日”は音節の切れ目が“礼拜”の後ろにある、とすることができる。

一方この“礼拜日”が文中では次のような、変調をする。図7を見られたい。

図7 明朝正好是礼拜日晚。



明 朝 正 好 是 礼 拜 日 晚。 . . . . .

22 44 44 21

lipɔŋjəʔ uə

図7では“礼拜日”は「22 44 44」いう連読変調が生じている。今、これを先の“礼拜”などと音調上の比較をすると、次のようになる。

表4 声調変化の比較

| 文       | 声 調           | 「/」は連読変調が生じない |
|---------|---------------|---------------|
| 礼 拜     | 22 44 (23 21) |               |
| 礼 拜 日   | 22 44 / 23    |               |
| 礼 拜 日 晚 | 22 44 44 21   |               |

この比較を通じて“礼拜日”の声調を考えると、単独での声調は「22 44 / 23」であるが、文中での声調は「22 44 44」となり、ゆるやかな山型の音調曲線の中に組み込まれ、文全体のイントネーションの支配を受けていると考えられる。

次に、先に1-2の「連語連読変調」で見た動詞連語の文中における連読変調について検討したい。図8を見られたい。



図 8 「係到侬屋里来过生日吧」

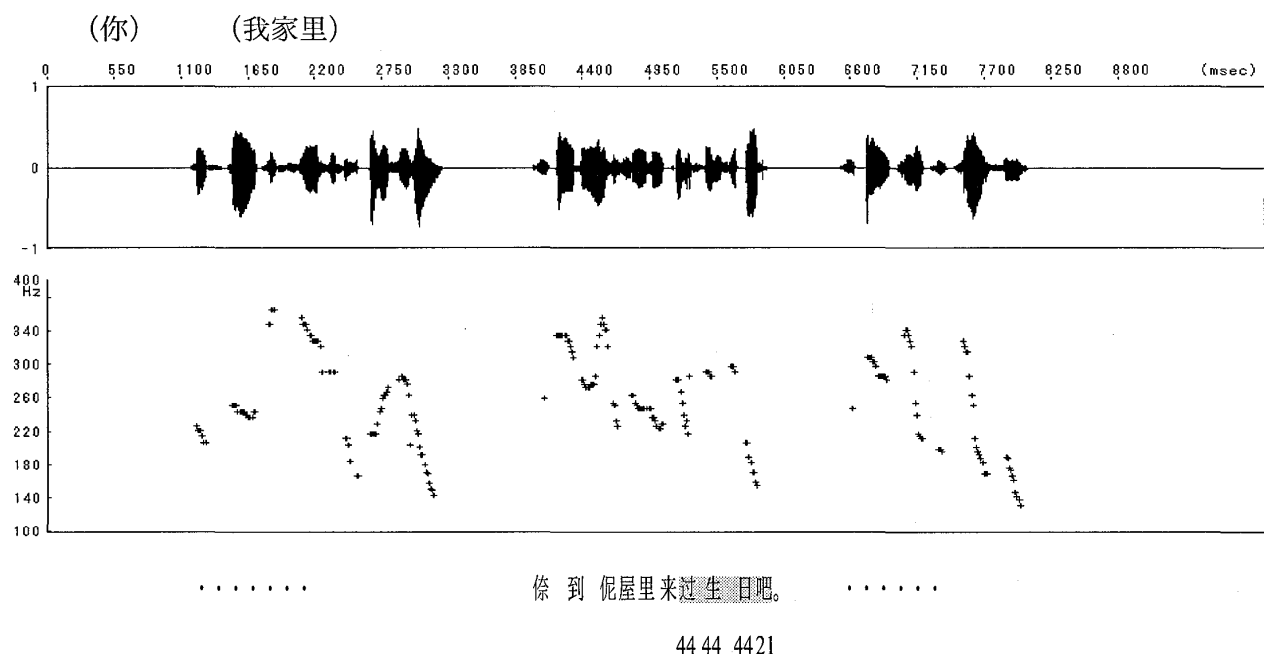


図 6 で見たように、“过生日” [kəu sə ŋjəʔ] の連読変調は次のようであった。

表 5 “过生日” の声調変化の比較

| 过 生 日    |   |     |      |       |
|----------|---|-----|------|-------|
| (原声調)    |   | 412 | 44   | 23    |
| (过 + 生日) | ① | 52  | / 44 | 21    |
| (連読変調)   | ② | 44  | 44   | 21    |
| (文中)     |   | 44  | 44   | 44 21 |

今、図 8 を見ると、文中での“过生日”の連読変調は、高いピッチからはじまり、なだらかな下降調である「44 44 44 21」(过生日吧)を示している。“日”の後ろに語気助詞“吧”が続いた結果の変調である。この連読変調も“礼拜日”の文中での変調と同様に、明らかに文全体のイントネーションと関わっていると考えられる。

次に、“看电影”の文中における例を見られたい。図 9 と図 10 は次の問答にあらわれた 2 つの音調である。

図 9 「侬阿去看电影啊？」 (映画を見に行かない?)

(可)

図 10 「好个啊，我去看电影啊。(ええ、行くわ。)

(的)

図9 「傖阿去看电影啊？」

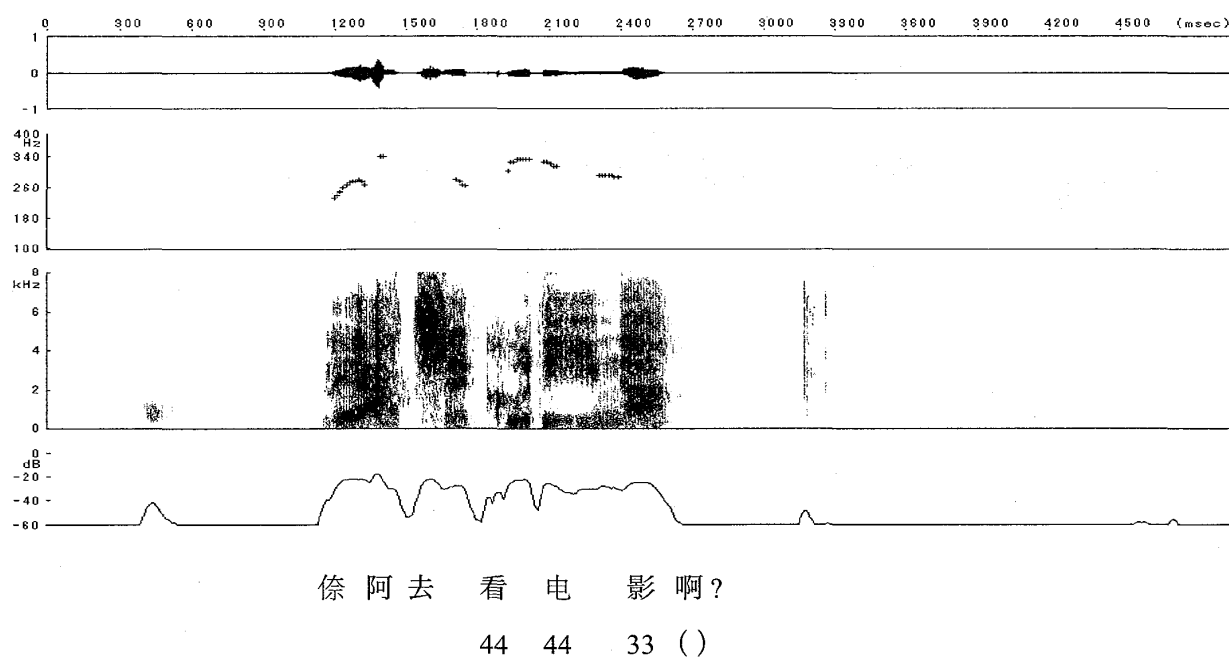
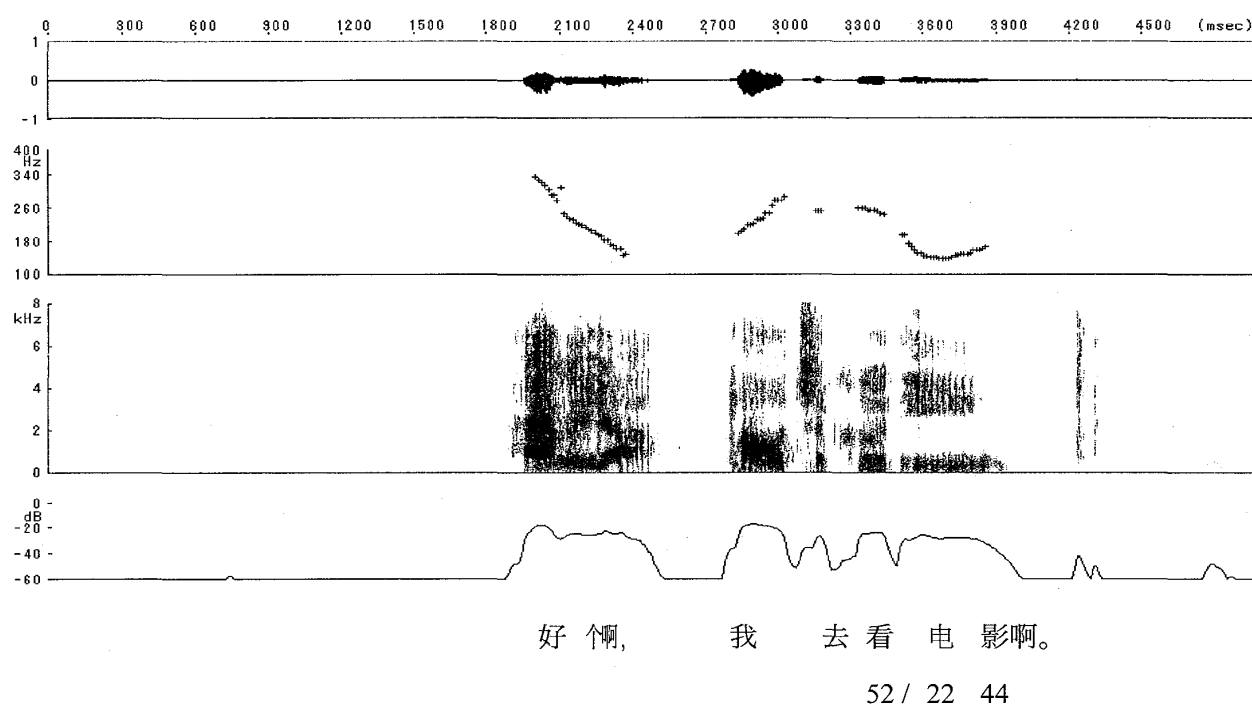


図10 「好个啊，我去看电影啊。」



連続変調した図9に見られるように、文中では“看电影”は「44 44 21」が「44 44 33」と語気助詞“啊”の前で「33」のピッチに変調しているのがわかる。

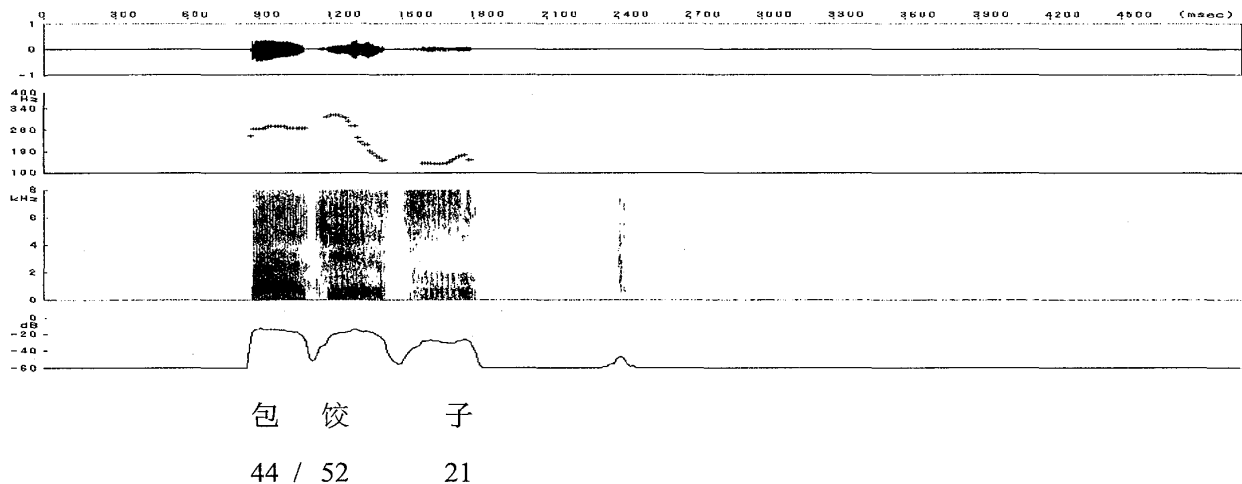
以上、連語の文中における連続変調では、語気助詞などの音節をうしろに伴うことにより、ピッチが変調していることがわかる。これは文全体のイントネーションの支配を受けることにより生じる、と考えられる。

### 3 イントネーションを構成する動賓連語

先に図5で連読変調をもたない例として、“包饺子”を掲げた。

包饺子 pæ tɕiæ tsɿ

(原声調) 44 52 52



動賓連語が「はじめに」で挙げた表1の一定の変調パターン(「はじめに」で挙げた表1)の影響を受けず、連読変調しないで本来の声調を文中で保つことは、文全体のイントネーションに音声的切れ目をもたらす。これはピッチによる文法的意味の情報伝達と関わっている、と考えられる。こうしたイントネーションに音声的切れ目をもたらし、何らかの情報伝達のピッチを使うものに強調の文がある。

以下に挙げる例は、本来は変調パターの支配を受けてはいるが、強調の文となる時、一部の音節が本来の声調に変わり、文全体のイントネーションに音声的切れ目をもたらすものである。

各図のうち、①と示したピッチ曲線が特別の感情なしで語られる文で、もう一方の②が強調の文である。▲は本来のピッチでなされる音節を示し、△は連読変調に支配される時の音節を対比して示してある。

図11 「是佢阿姐个。」

(我姐姐的)

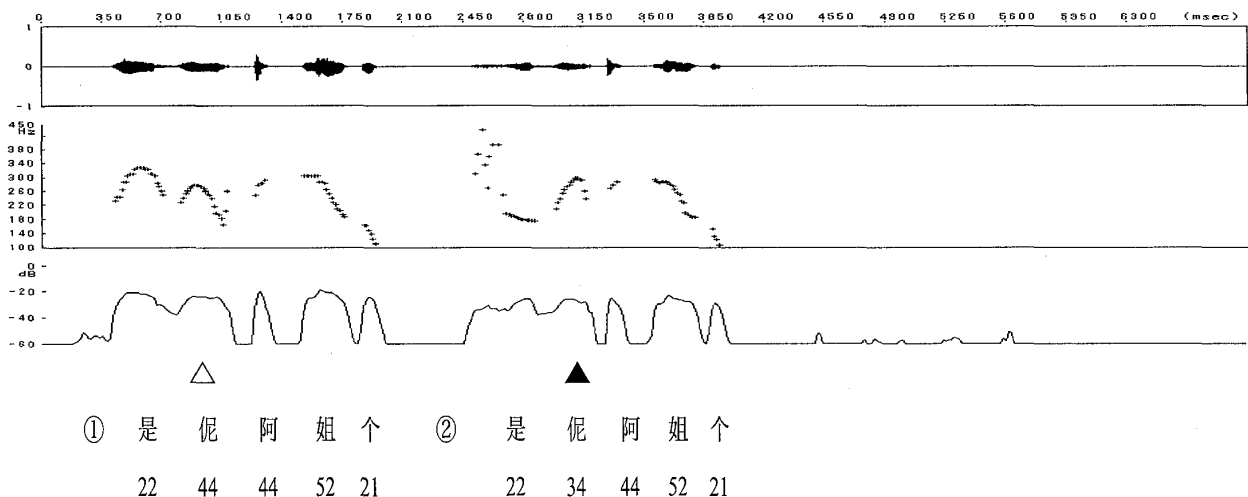
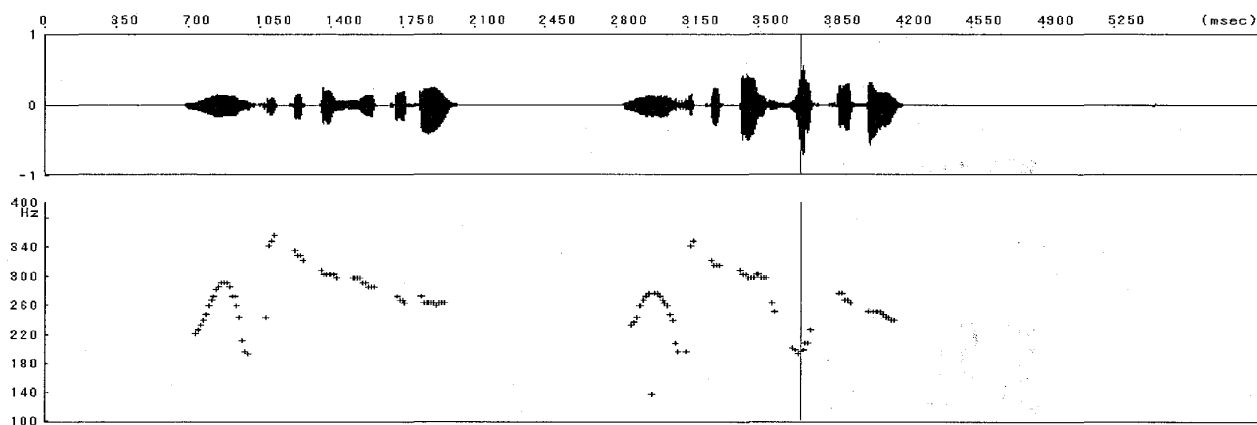


图 12 「有一个多月哉吧。」

(了)



△

① 有 一个 多 月 哉 吧

33 55 55 44 33 21

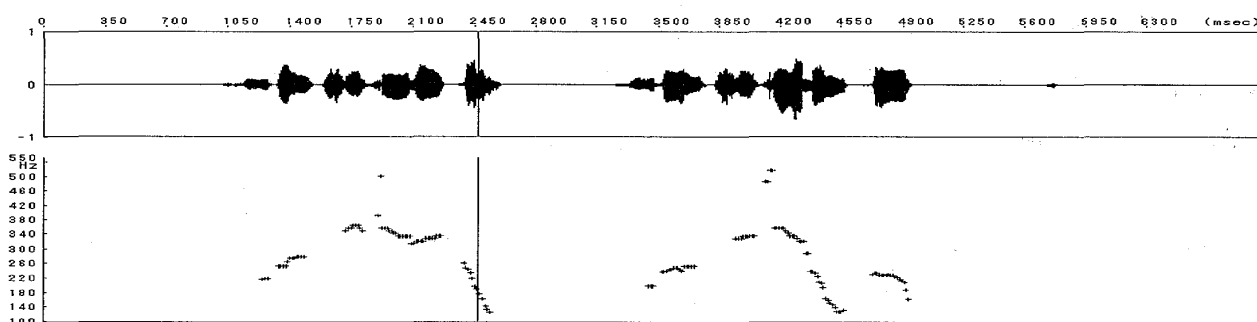
▲

② 有 一个 多 月 哉 吧

33 55 55 44 34 44 21

图 13 「前头汽车来哉。」

(了)



▲

② 前 头 汽 车 来 哉

22 44 44 44 34 21

△

① 前 头 汽 车 来 哉

22 44 44 44 22 44

図 14 「礼拜日晩」

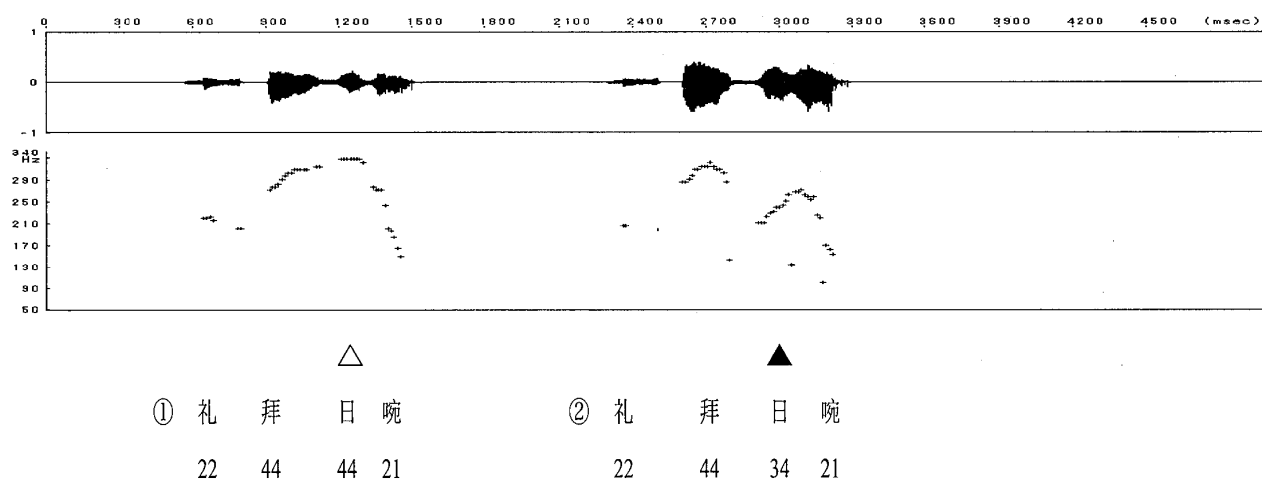
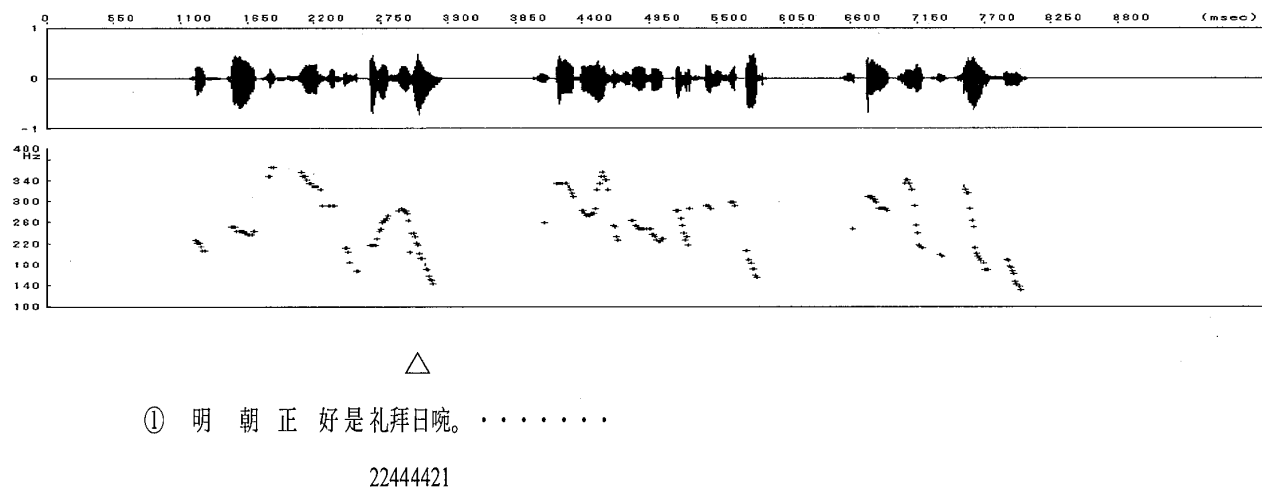


図 15 「明朝正好是礼拜日晩。」



#### 4 まとめ

以上のように蘇州語の声調の変化について検討してきたが、連読変調と文のイントネーションに関して次のようにまとめることができる。

- 1 蘇州語の連読変調は、語自体の内的変化によって生じるのではなく、外的な一定のパターンに支配されて変調が生じる。
- 2 連読変調のパターンが文全体のイントネーションを決定するし、また変調をせず本来の原声調でなされるピッチもイントネーションに変化をもたらす。

注)

- i 蘇州語の単字の声調（トーン）はそれぞれが固有のピッチパターンを有しており、以下のように 7 つのパターンがある。表 A を見られたい。

表 A 単字の声調

|    | 平声 | 上声 | 去声  | 入声        |
|----|----|----|-----|-----------|
| 陰調 | 44 | 52 | 412 | <u>55</u> |
| 陽調 | 23 |    | 231 | <u>23</u> |

\* 調値は聴覚印象に基づく音声観察によって得られる 5 音階に数値化したもので、5 は高音、1 は低音を表す。下線は声門閉鎖音で終わる声調を示す。

- ii 本文中の図に示した基本周波数曲線は、音声ソフト SUGI Speech Analyzer によって得られたデータである。
- iii 宮田一郎、許宝華、錢乃榮編著『普通語対照上海語・蘇州語』1983 光生館 pp.39-49